

## 2024 年度 第 2 回理事会議事録

2024 年 5 月 9 日（木）19 時 30 分、WEB 上にて理事会を開催した。

定刻に、理事 伊藤伸氏が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	28 名
本日の出席理事数	26 名
監事総数	2 名
本日の出席監事数	1 名

■出席役員：会長）宇田英幸、副会長）伊藤伸、茂木有希子 理事）赤間公一、石川麻子、犬塚功一、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、北村ミチル、小池祐土、神山真美、阪井之哉、鈴木香織、鈴木康子、高橋啓吾、高橋暢介、田坂翔太、種沢浩平、近森貴裕、平田樹伸、藤田真弓、丸達也、吉田朋子、分須 陽、渡部慶和  
監事）土屋美樹

■委任役員：理事）館岡周平、原裕如

■欠席役員：監事）中間浩一

■他出席：法人管理部）駒崎かんな 訪問リハ振興委員会）加藤恒平 敬称略

### ■議 題：

第 1 号議案 2024 年度 第 1 回 理事会議事録について【法人管理部：駒崎】（資料 1）  
内容を一部修正し、満場一致で可決された。

第 2 号議案 2024 年度予算案について【財務部：北村】（資料 2）  
収入は会員 1420 名で会費計算、研修会参加費・委託費なども含め 1540 万円となった。  
支出は新規事業などで金額修正し、備考の内容を確認した。  
満場一致で可決された。

第 3 号議案 事業報告について【総務部：丸】（資料 3）  
選挙管理委員会の分を追加および子ども支援委員会の削除漏れを削除し、内容を確認した。  
満場一致で可決された。

第 4 号議案 2024 年度定時社員総会議案書について【法人管理部：大橋】（資料 4）  
第 3 号議案で「協会員＝士会員」実現のための方策および実現のための工程表の同意を追加した。  
また一部内容を確認し、満場一致で可決された。

## II. 報告・確認事項

### 1. 各部署活動報告

- 1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。

2023年3月31日付け2023年度会費未納者約50名に対し、5月31日までの2023・2024年度年会費納入にて会員籍継続可能の案内を送付する。

5月2日に代議員へ総会開催日程案内を送信した。

- 2) 法人管理部：大橋部長より以下の報告があった。

5月8日に監査会議を開催した。総会議案書の編集作業。

- 3) 総務部：丸理事より報告事項なし。

- 4) 財務部：北村財務部長より報告事項なし。

第2号議案が承認され、新年度予算案が確定し、総会にかけられる。

新年度より、オンラインも含め研修は有料（通常通り）となる。座談会形式（語らナイト等）は無料のまま。アーカイブ配信に関する料金既定が必要となる。

- 5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

研修：特になし

編集委員会：県学会の抄録以外はすべて入校済み。

学会査読：14演題中12演題は査読終了し演者へ連絡済み。残りの2演題は査読中である。5月19日に終了する予定。

- 6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。

演題査読残り2件。抄録集作成中。

- 7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。

5月1日、協会の新生涯教育制度説明会に鈴木香織理事が参加。

2025年度入会者より新生涯教育制度施行、既存会員は2026年度までに現行の基礎研修修了をしている。

新生涯教育制度は、前期研修2年+後期研修3年+MTDLP基礎研修+実習指導者講習会修了で、登録作業療法士となる。

広報に関しては協会社員総会でアナウンスを開始してから、協会誌でのアナウンスになる。県士会としての広報は協会誌と同等のレベルの広報となる。

- 8) 生涯教育委員会：神山理事より以下の報告があった。

6月から共通研修を開催していく。

- 9) 養成教育委員会：岡部理事より、以下の報告があった。

第1回臨床実習指導者講習会の申し込み終了。一般枠57名+養成校枠38名の全95名。関東圏外からの申し込み者多くなっている傾向。基本的に埼玉県士会員および養成校と関連ある施設しか受け入れていない。他県と比較すると非会員の受講料が安いため、値上げも検討すべきか。

- 10) 職能開発事業部：藤田理事より以下の報告があった。

5月7日にこころとくらしの生活支援委員会会議に参加し、現職者選択研修の開催に向け、日本作業療法士協会の開催マニュアルを供覧し方針を検討した。結果、シラバスに添った内容を他県の現職者選択研修で講義経験をもつ作業療法士にご講義いただくことになった。講義候補者には宇田氏がコンタクトをとる。開催日は2025年1月を予定する。

- 11) 広報部：近森理事より以下の報告があった。  
災害対策部協力の元、広報誌「彩り」での災害支援についての特集記事の検討・作成を行っている。  
会員所属施設（300 施設）向け配布をレターパックと同時期の6月上旬に行う予定。
- 12) 地域リハ推進部：館岡理事より報告事項なし。
- 13) 地域包括ケア推進部：平田理事より報告事項なし。
- 14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より以下の報告があった。  
4月18日寄居カフェ、4月20日上尾つどい、4月26日に武里のオレンジカフェが行われた。
- 15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。  
5月7日付け「令和6年能登半島地震災害のJRAT活動終結の報告」。4月30日活動終結し地域リハビリテーション支援等で対応。中央対策本部も閉鎖残務は平時事務局にて実施。  
4月16日に予定していた埼玉県との話し合いは延期した。第18回災害リハbasicコース（7月または8月）準備。
- 16) 制度対策部：石川理事より報告事項なし。
- 17) 各ブロック
  - ・東部：小池理事より以下の報告があった。  
9月28日：みんなで語らNight！「脳卒中関連」案内作成中。
  - ・西部：種沢理事より以下の報告があった。  
5月8日西部ブロック定例会・交流会 参加者40名 BAND新規登録5名。
  - ・南部：犬塚理事より以下の報告があった。  
4月16日にブロック座談会を開催した。4月25日に夏キャン会議を開催した。
  - ・北部：分須北部ブロック長より以下の報告があった。  
4月22日 ブロック会議実施。5月27日語らnight 熊谷商工会館 対面にて行う。
- 18) 訪問リハビリテーション振興委員会：高橋暢介理事より報告事項なし。  
理事は高橋暢介が継続（2025年総会迄）、委員長を加藤恒平氏に変更となった。
- 19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より以下の報告があった。  
4月10日に会議実施。今年度予定を決めた。
- 20) 子ども支援委員会：田坂理事より報告事項なし。  
「作業科学を通して子どもの作業療法を考える」が6月15日（土）に開催準備進めている。
- 21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より以下の報告があった。  
福祉用具支援システムについて検討中。
- 22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。  
今年度の研修会について開催時期を検討している。
- 23) 運転再開支援委員会：赤間理事より報告事項なし。
- 24) こころとくらしの地域支援推進委員会：宇田会長より以下の報告があった。  
5月7日に会議を実施した。
- 25) 第33回埼玉県作業療法学会：小池理事より以下の報告があった。  
7月7日 会場：国立障害者リハビリテーションセンターにて開催。

参加募集中。

26) 埼玉県リハビリ専門職協会：宇田会長より報告事項なし。

## 2. 監事より

### 1) 土屋監事より

今年度も事業が多く頼もしいが、業務との並行になるため持続可能な県士会活動であってほしい。

## 3. 会長・副会長より

### 1) 宇田会長より

総会、学会が近づいてきました。忙しい時期となりますので健康に留意して本業と士会業務に向きあっていただきたい。今年度の事業計画のテーマは「対話」としたいと思っています。コロナ禍からの本格的な離脱を図り、対面で多くの対等な会話を増やしていきたいという思いからです。セルフリハですね。無理はせず、でも以前のような交流を取り戻せるようがんばりましょう。

<5・6月予定>

5月8日 作業療法士会監査会議

5月13日 リハ専協会理事会

5月16日 お城 de カフェ

5月18日 深谷のつどい

5月20日 リハ専協会監査会議

5月25日 日本作業療法士協会定時社員総会

6月15日 越谷のつどい

6月20日 お城 de カフェ

6月23日 埼玉県作業療法士会定時社員総会

6月27日 リハ専協会総会

### 2) 茂木副会長より

制度改定があり、障害福祉で高次脳のが算ができた。養成研修について県での研修会開催予定がない。県士会として、県に訴えていく必要がある。

### 3) 伊藤副会長より

ZOOMの予約のブッキングが生じている。必ず確認いただきたい  
研修会告知も県士会主催はフォームメーカーで申込をしていただく。

## III. その他

次回理事会：2024年 6月13日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時15分閉会を宣した。

2024年5月9日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会